

## 演劇・ダンス事業 KAVC FLAG COMPANY 2019-2020

## 吉劇屋「空間スペース 3D」



いちげきや


**「KAVC FLAG COMPANY 2019-2020」公演 第5弾！  
 オールスタンディングで体験する、世にも奇妙なエンターテイメント**

神戸アートビレッジセンター [KAVC] (神戸市兵庫区、指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団、館長：大谷煥) は、「KAVC FLAG COMPANY 2019-2020」の第5弾公演として、吉劇屋 (いちげきや) 「空間スペース 3D」の公演を開催します。

「KAVC FLAG COMPANY」は、舞台芸術分野における KAVC の年間プログラムとして、2019 年より新たに始まった舞台芸術セレクションです。アーティストと劇場が協働して多様な舞台表現を生む“創る劇場”を目指し、その基盤をつくるべく本企画を始動いたしました。初年度となる今回は、舞台芸術プログラム・ディレクターのウォーリー木下氏がセレクトした、関西を拠点に意欲的な作品を発表している7つの劇団の演劇公演を、当センター KAVC ホールにて、一年を通して上演いたします。

第5弾公演に登場する吉劇屋 (いちげきや) は、高校演劇全国大会出場メンバーにより2008年に結成され、枚方を拠点に活動する劇団です。パントマイム、殺陣、ダンス、会話劇、無言劇、コント、ミュージカルなど、あらゆるジャンルを数名の作・演出家が上演するマルチ娯楽劇団で、五ヶ月連続の殺陣公演では約6000人を動員、十周年記念公演では森ノ宮ピロティホール進出するなど、常に新しい挑戦を続けています。

本作品は、今回構成・演出を手がける大熊隆太郎が長年温めてきた KAVC ホールでの「オールスタンディング」での公演を実現させます。観客と共に移動しながらの上演や舞台と客席を交換しての上演など、トリッキーな演出を特徴とする劇団が繰り広げる新たな劇空間の展開にご期待ください。

**会 場：神戸アートビレッジセンター KAVC ホール**
**公演日：2019年12月6日(金)～12月8日(日)**

12月6日(金) 19:30 (S)

12月7日(土) 13:00 (A)/17:00 ★

12月8日(日) 13:00 (A)/17:00 (A)

※受付開始は開演の45分前、開場は開演の30分前

※上演時間は約1時間20分を予定。

※全ステージ YouTube での LIVE 中継を予定。

【各回アフターイベント有】

(S)…吉劇屋商店街組合限定イベント

(A)…劇団員によるアフターイベント

★…KAVC FLAG COMPANY アフタートーク

ゲスト：三浦直之 (劇団「口口」主宰)

**チケット 10/20 (日) 10:00～ 販売開始**

前売・当日共通：4000円

\*整理番号付き、オールスタンディング自由席となります。

\*上演中は移動しながらのご観劇となります。



会場・お問合せ：神戸アートビレッジセンター (指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団) 担当 竹下・野澤

〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356

※取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。

空間スペース 3D。  
伸縮する劇空間。  
重なる複数の次元。  
其処此処で始まる意思疎通。  
ところで、増殖する廃棄物。

オールスタンディングで体験する  
世にも奇妙なエンターテイメント

**出演：**

安達綾子、井立天、大熊隆太郎、柏木明日香、高安智美、谷美幸、半田慈登、松田康平、丸山真輝、湯浅春枝（以上、壱劇屋）、あおざきりょう（芝居処 華ヲタ）、宇野進之介（Heaven's Family）、岡一（劇団赤えんびつ）、おがわひろと、沖本凜花、勝賀瀬彩莉、清水慎太郎、とただし（スパンキープロダクション / 劇団乱れ桜）

**作・演出：**大熊隆太郎

**舞台監督：**新井和幸

**照明：**小野健（NEXT lighting）

**音響：**椎名晃嗣（劇団飛び道具）

**宣伝美術：**河野佐知子

**写真撮影：**河西沙織

**衣裳：**安達綾子

**大道具製作：**丸山真輝

**映像：**河原岳史

**制作協力：**TiA Production

**演劇協力：**特定非営利活動法人トイボックス

**運営協力：**ぴあ

**共催：**神戸アートビレッジセンター

（指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団）

**企画・製作：**劇団壱劇屋

**団体からのコメント**

KAVC は大熊が初めて自劇団以外で立った舞台でした。KAVC プロデュースの「X と Y のフーガ」というマイム公演でした。この公演に出演したことで、僕は舞台のいろはを学び、ありとあらゆることを体感しました。その後も KAVC 主催公演に二回出て、毎日神戸に通いました。そんな思い出多き KAVC で自劇団の公演ができる。嬉しいです。当時ホールで稽古をしている時に、もし自分が演出する時はこの広々とした空間をそのままオールフラットで、観客もオールスタンディングの公演がしたいと考えてました。それをやります。

**壱劇屋 プロフィール**

大阪と京都の狭間、枚方を拠点に高校演劇全国大会出場メンバーで2008年より活動開始。パントマイム、殺陣、ダンス、会話劇、無言劇、コント、ミュージカル、etc. あらゆるジャンルを数名の作演出家が上演するマルチエンターテインメント。近畿圏外からのお客様半額プランや高校生以下無料など様々な取り組みも行っており、五ヶ月連続の殺陣公演では約6000人を動員、十周年記念公演では森ノ宮ピロティホール進出など、常に挑戦を続けている。KAVC FLAG COMPANY 2019 では主宰の大熊が演出を担当。マイムパフォーマンスによる視覚的な面白さと、観客と共に移動しながらの上演や舞台と客席を交換しての上演など、トリッキーな演出が特徴。

会場・お問合せ：神戸アートビレッジセンター（指定管理者：公益財団法人 神戸市民文化振興財団） 担当 竹下・野澤  
〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356

※取材に関するお問い合わせ、プレス用写真等ご入用の方は上記までご連絡ください。